

ごあいさつ (事業の概況)

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は変わらぬご支援を賜り有り難く厚くお礼を申し上げます。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展とともに経済活動の正常化が進み、3年余り続いたコロナ禍の終息の兆しがみえた一方で、ウクライナ情勢の長期化、急激な円安、エネルギーや原材料価格の高騰、欧米各国の金融引締め等、世界的な景気後退が懸念される中、物価の高騰や人手不足等を背景に大企業を始めとして賃上げの動きが出てきております。一方、当金庫の取引先である中小零細企業の業況においては、業績の回復状況に業種や企業間で格差が見られ、安定的な賃上げまでには時間を要するものと思われまふ。

このような状況下において当金庫の令和4年度は、3か年事業計画『支援力の強化と変革への挑戦～課題解決による地域経済の力強い回復と金庫の経営基盤強化を目指して～』の2年目にあたり、地域社会や地域の方々に寄り添い、「お客様の為になり役に立つ」活動を実践し、「地域に必要とされる金融機関」を目指してまいりました。

令和5年度におきましても、前年度の活動を更に強化するべく8月にオープンする「はれまち支店」に併設の「相談テラス」を活用することにより、コロナ禍で影響を受けて来た中小企業や個人のお客様の抱える諸問題をきめ細やかに把握し、金融仲介機能やコンサルティング機能を十分に発揮することにより地域の持続的発展に貢献すべく役職員一丸となって業務に邁進する所存でございます。

結びに皆様方の一層のご発展、ご隆昌を心からお祈り申し上げますとともに、新年度も一層のご愛顧を賜りますよう切にお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

令和5年7月



理事長 日馬直一